

教科名	ホームルーム	科目名		学年	1	授業形態	必修
使用教科書・使用教材				単位数		授業時数	
なし							
学習目標	1, ホームルームを通して高校生活や学級への適応をはかり、望ましい態度・能力を育てる。2, 集団の一員としての自覚と責任を高め、相互に理解し、尊重する人間関係を作る。3, 学校行事等を作り上げる中で、課題解決力や自主性を育て、共同生活を充実させる。						
授業内容の概要	学期	単元名・学習内容		学習方法・留意事項・具体的な学習目標等			
	一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・個人面談 ・進路指導 ・生徒会活動 ・防災訓練 ・合唱コンクールの企画準備 ・運動会の準備 種目選出 ・文化祭の企画準備 		クラス生徒の掌握に役立つ 進路調査、進路適性検査の実施と活用 クラス委員の選出、生徒総会への議題検討、生徒総会主体的に取り組み取り組ませるようになる 自由曲、指揮者、伴奏者の決定 協力し合い計画的に準備・練習を行う 種目検討、グループ分け抽選、選手・バックボード係の選出 運動会全体の成功を目指させる 当日まで計画的に準備を進めていく			
	二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱コンクール練習 ・文化祭準備 ・生徒総会 ・進路学習 2年選択科目の決定 ・遠足の計画 ・2学期の反省 		クラスの団結と、学校の中核としての自覚を持たせる 協力体制の確立 実行委員会との連絡を密に 計画に従い、期限厳守で検討・決定 良好な友人関係づくりを目指し、楽しく意義深い行事にする 選択説明会（2年次での科目選択について） 文理選択について決めさせる 良好な友人関係づくりを目指し、楽しく意義深い行事にする 生活面の規律を再確認する			
	三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・進路学習 自己の進路・適性 ・球技大会の準備・企画 ・レクリエーション ・1年間の反省 		大学進学さらにその先を意識させ自らの進路を具体的に考えさせる 必要に応じて個人面談等を行う クラスの親睦を図る			
評価の観点と方法	評価しない						

教科名	総合的な探究の時間 (人間と社会)	科目名		学年	授業形態
	使用教科書・使用教材		1	必修	
なし				単位数	授業時数
				1	39
学習目標		価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、判断基準(価値観)を高めることで、社会的現実にはらし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。			
授業内容の概要	学期	単元名・学習内容		学習方法・留意事項・具体的な学習目標等	
	一 学期	『人間と社会』についての 全体説明 「ネット時代」 「地域社会を築く」 体験活動についての説明		<ul style="list-style-type: none"> 『人間と社会』の学習の意義、内容について 演習及び体験活動についての説明 各演習を通じて様々なことを学び、自分の考えや他者の考えを理解し、生徒一人一人がこれからどのように生きていくか考えさせる。 各教科、分掌等連携を図り実施していく。 各種ボランティア活動や体験活動を実施するための方法や報告書作成等についての説明 実際に体験活動を実施する。 	
	二 学期	「マナーと社会のルールについて考える」 「支え合う社会」 体験 2年選択科目の決定 (ポイントリザーブ制)		<ul style="list-style-type: none"> 各演習を通じて様々なことを学び、自分の考えや他者の考えを理解し、生徒一人一人がこれからどのように生きていくか考えさせる。 自己と社会との関係を考え、主体的に選択・行動できる能力の育成を実践していく。 林試の森公園の清掃活動の方法や報告書作成等についての説明 	
	三 学期	学習のふりかえり 成果のまとめ		<ul style="list-style-type: none"> 1年間の学習ふりかえり ふりかえり後のまとめ、話し合い 総括ワークシートの作成 	
評価の観点と方法		<ul style="list-style-type: none"> 各講演におけるワークシート、各演習のワークシート 体験活動のワークシート、まとめ・ふりかえりのワークシート 等 体験活動の取り組みや報告書 年間を通じた自己評価および相互評価 			